

平成27年5月伊賀南部環境衛生組合議会第184回臨時会会議録

平成27年5月29日（金曜日）

議事日程

平成27年5月29日（金曜日）午後0時33分 開議

日程第1 議席の指定

第2 会議録署名議員の指名

第3 会期の決定

第4 諸般の報告

第5 副議長の選挙

第6 議案第4号 伊賀南部クリーンセンターごみ処理施設改修工事請負契約の締結
について

（提案理由の説明、質疑、討論、採決）

第7 議案第5号 監査委員の選任につき同意を求めることについて
について

（提案理由の説明、質疑、討論、採決）

出席議員

浦崎 陽介 田中 覚 田山 宏弥 富田 真由美 前田 孝也
三原 淳子 森脇 和徳 幸松 孝太郎 吉住 美智子

欠席議員

中谷 一彦

説明のため出席した者

管理者	亀井 利克	副管理者	岡本 栄
副管理者	前田 國男	事務局長	濱田 謙治
総務担当参事	藤岡 善光	総務担当参事	大橋 久和
総務担当参事	牧野 頼悌	総務室長	手島 左千夫
業務室長	酒井 隆郎		

事務局職員出席者

書記長 米山 暢子 書記次長 羽後 和秀
書記 高倉 俊明

午後0時33分開議

(吉住美智子議長席に着く)

議長(吉住美智子) 皆様、こんにちは。

中谷一彦議員より欠席の届け出が出ておりますので、ご報告いたします。

ただいまから平成27年5月伊賀南部環境衛生組合議会第184回臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

最初に議員の異動についてご報告いたします。

伊賀市選出の中井洸一議員、森正敏議員が本組合議会議員を辞職されたことに伴い、伊賀市議会において後任者の選挙が執行されました結果、田山宏弥議員、前田孝也議員が当選されました。

日程第1 議席の指定

議長(吉住美智子) 日程第1、議席の指定を行います。

今回の議員の異動に伴う議席は、会議規則第3条第2項の規定により、議長においてお手元に配付の議席表のとおり指定いたします。

日程第2 会議録署名議員の指名

議長(吉住美智子) 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第93条の規定により、森協和徳議員、田山宏弥議員を指名いたします。

日程第3 会期の決定

議長(吉住美智子) 日程第3、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本組合議会臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉住美智子) ご異議なしと認めます。よって会期は、本日1日と決しました。

~~~~~

#### 日程第4 諸般の報告

議長(吉住美智子) 日程第4、諸般の報告をいたします。

監査委員から平成27年2月、3月、4月及び5月に執行した例月出納検査結果の報告を受けました。報告書は、お手元に配付のとおりであります。

~~~~~

日程第5 副議長の選挙

議長(吉住美智子) 日程第5、これより副議長の選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法については、地方自治法第118条第2項の規定により指名推選によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉住美智子) ご異議なしと認めます。よって選挙の方法は、指名推選によることに決しました。

お諮りいたします。指名の方法は、議長において指名することにいたしたいと思ます。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉住美智子) ご異議なしと認めます。よって議長において指名することに決しました。

副議長に前田孝也議員を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま議長において指名いたしました前田孝也議員を副議長の当選人と定めることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(吉住美智子) ご異議なしと認めます。よってただいま指名いたしました前田孝也議員が副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました前田孝也議員が議場におられますので、本席から会議規則第29条第2項による当選の告知をいたします。

この際、前田孝也議員の発言を許可します。前田孝也議員。

議員（前田孝也） ただいま指名を受けました前田でございます。27年度伊賀市、名張市南部環境衛生組合副議長として精いっぱいやらせていただきたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

日程第6 議案第4号 伊賀南部クリーンセンターごみ処理施設改修工事請負契約の締結
について

議長（吉住美智子） 日程第6、議案第4号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第4号、伊賀南部クリーンセンターごみ処理施設改修工事請負契約の締結につきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

本議案は、地方自治法及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、伊賀南部クリーンセンターごみ処理施設改修工事に係る請負契約の締結につきまして、議会の議決をお願いするものでございます。

この工事は、開設以来7年目を迎えました伊賀南部クリーンセンターごみ処理施設の安定的かつ効率的な機能の向上を目的とした大規模な改修工事を行うものでございます。

主な工事の内容といたしましては、受入供給設備、ガス化溶融設備及び排ガス処理設備等の部品の更新とともに分解整備を行うものでございます。

契約内容といたしましては、請負金額1億9,872万円、うち取引に係る消費税額及び地方消費税額1,472万円で、三機化工建設株式会社と請負契約を締結しようとするものでございます。

なお、工期につきましては平成28年3月25日まででございます。

以上、本議案につきましてご承認を賜り次第、仮契約を本契約として締結いたしたいと考えておりますので、何とぞよろしくご審議の上、ご賛同賜りますようお願いを申し上げます、提案理由のご説明といたします。

議長（吉住美智子） これより質疑を行います。なお、本日の質疑は、会議規則第43条の規定により3回までといたします。三原議員。

議員（三原淳子） ただいま第4号が上程されたんですけれども、動議を提案したいと思

います。

まず、先ほど全員協議会でもってこの三機化工のこれまでの事故の検証がされました。これは、日常の作業委託用のところにはかかわりますことでしたけれども、過去に修理改善のところも事故が起きているわけですね。その事故が改善されていないということであって、その説明を受けましたが、それが不十分である。

また、資料提出も不十分であることを踏まえて、事故安全対策再発防止調査委員会を設置いたしまして、ここにこの議案第4号を付託し、継続審議とすることを動議としたいと思います。

議長（吉住美智子） ただいま三原議員から委員会設置を要望する動議がありましたが、本議会において委員会設置の規定がないため、議長においてこれを却下いたします。

会議を続行いたします。浦崎議員。

議員（浦崎陽介） ただいま上程されました議案第4号に関しまして、動議が提出されましたが却下ということで、私自身の動議もお願いしたいと思います。

この議案に関して、上程されましたことを取り下げのような、そのような動議が可能なのか、取り下げていただきたいという動議を提出したいと思います。いかがでしょうか。

議長（吉住美智子） 暫時休憩をいたします。

午後0時42分休憩

午後0時44分再開

議長（吉住美智子） 会議を再開いたします。

ただいま浦崎陽介議員から動議が出されましたが、議案がもう提出され、議題に上がっておりますので、浦崎陽介議員の動議は成立しません。

会議を続行いたします。幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） 一応、私は今回の契約の件ですけれども、前提条件をつけながら賛成の立場で質問してまいりたいと思うんですが、先般、クリーンセンターに行って、今の大規模改修の機械の状況を見させてもらいました。そのようなところを見させてもらったところは、老朽化も非常に甚だしいというふうなことがございまして、そういったことを踏まえてきょうのこの契約が必要も含めて、どのような形で今後進めていくんだというようなことが1点あると思うんです。

それから、今動議出されている条件は、やっぱり今の安全管理をどうしていくんだと

というような形で皆さんから受けておるわけですから、じゃあそれを具体的にこれから契約した上でどういうように持っていくんだと、こんな形で我々納得できる話をさせていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

議長（吉住美智子） 事務局長。

事務局長（濱田謙治） 今回の工事の必要性でございますけども、クリーンセンターの操業開始から7年目を迎えております。やはり性能も落ちてきましたので、安定的かつ効率的な機能向上のためできる限り早く改修工事を行いたいと考えてございます。

それから、今後の安全管理でございますけども、各安全衛生それぞれ事業所並びに組合につきましては、安全衛生委員会がございまして、そのマニュアルがございます。しかし、今回このような重大な事故がたびたび起こっておりますので、それぞれ施設として一本化を行いまして、協議を行いまして一本化をし、評価をしていきたいと考えてございます。

以上でございます。

議長（吉住美智子） 幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） 余り声が聞き取りづらくって、もう少し安全対策を含めてやるのがちょっと見えないんですけれども、もう一回その辺のところはっきりしてほしいのと、今回のこの契約を結ぶに当たって、大規模ですから約2億円のお金を使ってやるということになってますから、この瑕疵担保、こういう瑕疵担保をどんな形できちっと先方さんと取り決めしながら、今後の2億円の機械をこの安全管理も含めて長くしていくためにどういう契約内容にしていくのか、そしてまた現実にその機械ができた、できる前含めてどういう工事の監督をしていきながら、どんなチェック表をつくって、今までの7年間の改修じゃなくって、もっと組合としてこんなふうなチェック項目をしながら、今回は抜かりなくやるんですよというふうなことをご説明いただきたいと思うんです。

議長（吉住美智子） 事務局長。

事務局長（濱田謙治） 濟いません。今後の安全管理でございますけれども、それぞれの安全衛生委員会のマニュアルがございましてけれども、それを施設管理全体の施設内での作業という形で三機化工建設と協議をしながら、一本化を図りまして、それに基づきましてそれぞれ施設内作業という形で行っていききたいと思います。

それから、毎月三機化工建設とは定例会、それぞれ安全管理等につきまして定例会を

実施しておりますけれども、その充実も図っていききたいというふうに考えてございます。

それから、施設内のパトロール等も強化を行っていききたいというふうに考えてございます。

それから、今回の工事の監督並びに検査瑕疵担保の話でございますけれども、契約を締結した場合におきましては地方公共団体の職員は契約の適正な履行を確保するため、また必要な監督または検査を行わなければならないというふうに自治法に定められてございます。監督につきましては、検査のみでは契約の履行の確認が困難なものにつきまして、相手方の履行の確保を図るために行うものでございます。しかし、監督につきましても段階的に行うものでございまして、全てをチェックすることは困難でございます。

そういったことから、完了後の不具合につきまして補償を担保するため、瑕疵担保の条項がございます。それにつきましては、本仮契約書の中に瑕疵担保という条項を設けてございまして、一応設備工事等の場合には2年以内という形で条項に記載をさせていただいております。

以上でございます。

議長（吉住美智子） 幸松孝太郎議員。

議員（幸松孝太郎） 瑕疵担保は、じゃあ何年をもってどうするんだというような形が言われてないのと、それから管理者の市長にお尋ねしたいんですけども、やはりこういった契約をしていくに当たって、どんな形で市長としてこれからやるんかというのをちょっと思いをきちっと述べてください。

議長（吉住美智子） 管理者。

管理者（亀井利克） 契約によって瑕疵担保については2年、きちりと担保いただくと、こういうことになっているんですが、今後の安全対応についてはこの後できるだけ早い時点で、また議員の皆様方にもご足労をおかけするわけですが、ご理解をいただけますならば、現地でいま一度こういう態勢でやっていくんだということについて、この三機化工も呼んで、きちりした説明を納得いただける説明をさせていただこうというふうに思っております。

議長（吉住美智子） 浦崎陽介議員。

議員（浦崎陽介） まず、質疑というより動議を出したいなと思っております。今の議会の議事進行に関しまして、なかなかしつかりとした議事進行ができていないと思っております。

で、一度暫時休憩を図っていただきまして、休憩をとって、その間にしっかりと議事の進行、伊賀市と名張市の議会の進行の仕方が違いがあれば、そこらをしっかりと擦り合わせていただいて議事進行を図っていただきたいんですけども、休憩を提案をいたします。

議長（吉住美智子） ただいま浦崎陽介議員から暫時休憩されたいとの動議が出されました。

ただいまの動議に賛同される方はいらっしゃいますか。ご起立お願いいたします。

（賛成者起立）

議長（吉住美智子） 浦崎陽介議員から提出されました動議は、成立いたしました。

よって、本動議を議題といたします。

お諮りいたします。

暫時休憩されたい旨の動議について決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（吉住美智子） 賛成4名で同数でございます。

議長において会議を続行いたします。浦崎陽介議員。

議員（浦崎陽介） じゃあ、質疑に入らせていただきます。

今、動議を出して、なかなか通らないなと思って、しっかりと議会というのは両議会がやはり慣習等も違うわけですから、その辺の議事進行というのはしっかりと我々自身も認識しなければならないと思っております。

この今ただいま上程されました議案について質疑させていただきます。

先ほどの全員協議会での議員の皆さんの質疑は、執行部も聞いておられたと思います。今回、この中身がだめだとか言ってるわけじゃないんですよね。そこは十分理解してください。

まず、議場に座られている皆様方も確かにこの対応はまずかったなど、心の中で反省されている方もおられると思います。やはり先ほどの三機工業さんの、三機化工さんの事故報告に対しての対応、やはり口頭での6点ほど言っていただきましたが、あれは本来しっかりと文章にまとめて行うべきであって、やはりそれを指示するのも管理者であると思っております。

このまま行けば、先ほどからも他の議員からもございましたけども、命にかかわる事故が起こってから、行政はよく起こってから反省に入りますが、やはり事故というのは

未然に防ぐものであって、これ4回も事故が立て続けに続いている。

そして、先ほどの安全対策のお話を聞かせていただいてもごく当たり前、民間企業では当たり前に行われている中身を述べられておりました。私自身も、いろんなアルバイトも経験ございますが、さまざまな職種の中で安全管理というのは徹底されておると思いますが、民間の方がもっと。しっかりとその辺を考えていただく機会として、やはり本来ここへ本会議へのこの4号議案の上程は管理者は避けるべきであつたらうと思っております。常識を私は疑いました。

あれほどの全員協議会でのご意見、あれが本当にリーダーとして安全管理上、今三機工業さんにお任せをするという議論に入る以前の問題だと思っております。

人の命を何だと思っているんですか。安全管理を何だと思っているんですか。名張市長としては、これまで本当に尊敬する部分もありましたが、何だと思っているんですか。先ほどの対応、あくまでも三機工業さんの対応だったんでしょけれども、それはやはり管理者がしっかりとその辺の指示、そして擦り合わせするべきではないんでしょうか。

これまでどおりの安全対策、安全管理、やっていきます、これから気をつけます、言葉はいつも言われますよね。しかしながら、先ほども三機工業さん言われておりましたけれども、ヒューマンエラーで管理側には責任はないです、ハードに問題ないです、あの答弁、あの説明を受けたら我々、やはり今回三機さんにお任せして大丈夫なのかな、まずその辺のことから不安になってきます。何ぼいい会社であつても、何ぼいい技術があつても、まずけがや命にかかわるようなことの対策がまず先決だと思います。

そこでお伺いいたしますけれども、この三機工業さんをお願いいたしましたプラント建設時に当たっての安全管理に関する当時の設計、検討、そして1回目の事故、2回目の事故、3回目の事故、4回目の事故に関してどのように変化があつたのか、まず設計当初の安全管理上のお話、聞かせてください。どのように検討されたのか、安くプラントを建てたがゆえにこの安全管理が行っておる施設、整備だったのか、その辺の意図を教えてください。いかがですか。

議長（吉住美智子） 事務局長。

事務局長（濱田謙治） 今回の当初におきましても、今回の改修工事におきましても、その工事に当たりましては施工業者は労働安全衛生法等に基づきます自社の安全管理マニュアルにより安全管理を行ってございます。発注者側としましても、その当初であれ、

今回の改修工事でございまして、工事成績採点表等によりまして監督職員並びに事業担当室長がチェックを行うということでございます。

議長（吉住美智子） 浦崎陽介議員。

議員（浦崎陽介） 当たり前のことを当たり前になるんじゃないじゃなくて、やはり4回続いているわけですから、確かに担当者の皆さん、多分努力されたと思います。担当レベルでは、やはりその現場との擦り合わせがしっかりできてないんじゃないかな、またそれが設備とのリンクができてないんじゃないかな、その設備がけがをする可能性が高いものに関して、幾らそのヒューマンエラーを防止する報酬や徹底注意を図ったところで、委員会でもありましたけど、人がやはりぼっとしているときがあるんですよ。それをどうしようかという話なんです。

じゃあ、それは人間としてなかなか可能性まで人の力では難しい部分に及ぶときには、先ほども言いましたけども全協でも、設備的に何かセンサーをつけて、自動的に止まるような設置をしていくとか、そういうことが求められるんですよ。だから、それはやはり今の伊賀南部の組合と三機工業さんとの間、また現場との共通認識でできないのであれば、しっかりともっともって第三者からも指摘をしていただいてするようなシステムを講師、教授、いろんなところにそういうのもしたらどうでしょうかということも申し上げました。

先ほど副管理者の方からは、そのようなことも視野に入れながら検討したいということでありました。そこには、本当に真摯な対応だと思います。

そして、我々がこの議論に入る前にやはり2億円ものお金をかけて改修をするわけですから、いま一度いろんな先ほども質問にありました三機さんが環境分野からちょっと遠ざかってるんじゃないんでしょうかとかありましたけども、いろんなことを鑑みて、タイムスケジュールをしっかりと守っていこうというんじゃないじゃなくて、意見があったときには立ちどまる勇気も管理者は持つべきじゃないんでしょうか。自分の思いを通すだけ、議会は私の言うこと聞いてくれるであろう、そういうものじゃないですよ。

私は、この議会、この上程を多分管理者はしないであろうと気持ちはありました。来週でも、再来週でも、もう一度臨時会を開いて、それが我々の仕事です、議会としての。1週間遅れたら市民に迷惑かかるから、そこもさっき聞かせてもらいましたよね。そんなことは今、現実ないわけなんです。審議しましょうよ、しっかりと。

本当に今回の上程に関しては、憤りというか、議会ってこんなんでもいいのかなと、全

員協議会であれぐらいの意見が出て、少し上程は控えさせていただいて、三機工業とも擦り合わせながらもう一度資料作成して皆さんにご提示する、これはリーダーの役割じゃないんでしょうか。副管理者は、先ほどもしっかりと我々の意見を真摯に受けとめながらということでありました。管理者、どうなんですか。リーダーですよ。伊賀南部クリーンセンターの要は作業をされる方のトップですよ。社長ですよ、民間で言えば。従業員、部下の安全対策、まず第一と違うんですか。そんなにこの改修工事、先に進めたい理由、何かあるんですか。

何も、我々、私自身は、この議案に関してとやかく言ってるわけじゃないんですよ。まず、ここの議論に入る前に安全対策がしっかりできる企業さんなのか、そこをしっかりと見定めさせていただきたい。そして、管理者としての考え方、組織としてのあり方の見直し、やるべきじゃないんでしょうかというご提言も、先ほども全員協議会で三原議員からもありましたよね。何か推し進める理由、あるんですか。今、取り急ぎ1カ月や1週間、2週間伸ばせないんですか。いかがですか。

議長（吉住美智子） 管理者。

管理者（亀井利克） 先ほども申し上げましたけれども、今後の対応につきましては今一度現地で議員の皆様方にもご理解をいただけるような、そんな説明をきっちりさせていただかなければならない、こういうことをございます。

ただ、この三機工業以外で契約を交わしていくというふうなことについては、非常に今の状況では難しいというふうにも思っておりますので、何とかご理解いただいて、そしてお認めをいただく、そして今後のことにつきましてはそんな中でそのときにまたご理解をいただけない対応であれば再度行うというようなことで、三機にも、そして我々もそんな対応をいたしていきたいとそんなふうには思っております。

議長（吉住美智子） 浦崎陽介議員。

議員（浦崎陽介） 私自身、三機さんがだめだって言ってるわけじゃないんですよ。三機さんに任せていくに当たって、しっかりとした態勢づくりをまずお示しいただいて、それは三機さんも含めて名張の組織体制、そして従業員との擦り合わせ、皆さんで共通認識を持って事故の再発防止策をしっかり練りましょと、4回もあったわけですから自分たちで自助能力がないんでしょう。

それならば、第三者機関の助言をいただいて、しっかりと安全対策を行っていきましょう、それから三機工業さんに任せていきましょう、何もおかしいことじゃないですよ

ね。2億円ものお金使うんですよ。

じゃあ、この際に追加設計で安全管理費、安全対策の管理費、施設整備費、一緒に上程されたらよろしいですよんか。そのような時間を例えば少しでも持ったらどうなんでしようかと言ってるんですよ。

三機さんがだめだと言ってるんじゃないです。私は、10社のガス化溶融炉の行っているプラントの企業さん、そういうところには意見を聞いたらどうですのと、いろいろ調査の仕方ってありますよね。例えば、それは同じそういうごみ処理施設でなくても、そのヒントは民間の企業の安全管理、名張市はたくさん工場ありますよね。どういうふうなこういう事故防止をしているのか、これこそ市長、管理者、民間手法の取り入れでしょう。

そして、1つ懸念、心配があるのは、この議会に三機さんがだめだとか、事故防止がどうだと言ったときに現場ですよ、現場にあつれきがかかることを心配しています。よくありますよね。こういう事故があれば、現場で徹底していく。これだけ議会でもんだわけですから、管理者としても現場に徹底的な教育やら、すごい上からあつれきをかけていくと思いますわ。

確かにそれも大事かもわかりませんが、決してあつれきをかけることが事故防止になるわけじゃないです。そこは気をつけていただきたい。やはり現場と管理者と市民のごみをしっかりと処分していただいているわけですから、安全にしていくためには圧力で安全管理するように行政がするべきではないでしょう、三機工業さんに対して、従業員に対して、仕事の環境面も、働く環境、そういうのもしっかりと視野に入れていただきたい。

よくありがちなんですよ。こういう事故があると、がっと一時だけ上からやってしまうということが。これはこれは議会の中ではいいですよ、管理者とのやり合いの中では。ただ、現場で働く人たちにはそれはやめていただきたい。

だから、第三者機関、どういうふうなやりがいを感じながら安全面を確保できるかということに従業員の皆さんにも、現場の皆さんにも一緒に考えてもらえるようなそんな取り組みであったり、市長、管理者、やはりさっき言ったように自助で皆さん現場で働いた経験ないですよ。現場、本当に現場なんですよ。そういうのをわかった、いろんな第三者の研究されている人もおられると思います。

ほんで、民間企業がどのような徹底した安全管理を行っているか、この際調べま

しょうよ、そんなことぐらいで民間手法の取り入れってできるんじゃないんでしょうか。

今回、私自身はこの件に関して、別にまだ課題はまだまだ随契だとか、2億円もの金額のお金を予算を費やすものに対して、随契だとかいろいろさっきの委員会でもありましたけども、このことに対して別に何ら異議は今のところはないんですけども、まずこうやって言わせてもらったり、動議を出していただいているのは4度続いた対策に対しての市の管理者としての考え方の甘さ、事故したあんたやからあんた議会行って説明しいやぐらいの感じに見えました、私自身は。

そうじゃなくて、ともに擦り合わせてこういう資料をつくりましょう、ああいう資料をつくりましょう、こっちは仕事を発注しているからといって上とか下じゃなくて、互いに同じ仕事をする仲間として安全管理を考えるべきじゃないでしょうか。

そして、早急にこの2億円ものお金のことをこの件をしっかりと解決もせんま前に前に進めることは、私はそこに対しては強く批判もしていきたいですし、今回のこの議案に関しては反対します。

それしか、この本会議に提出されて我々の議会議員としての役割を果たせません。可能性があるとしたら、退席をして、議会を流れにするかとか、そういうやり方もあろうかと思えますけども、今回の時間もありませんし、そういう思いも皆さん方がどうなのかというのわからないですし、本来ならば全員協議会で先ほど三原議員がしっかりとそういうことも発言されました。本来、議会としてもやはりその辺は考えるべきであろうと、我々自身も、私自身も反省をいたします。管理者としても、しっかりとその辺を考えていただいて、今からでも遅くありません。今回、上程を取り下げることでもまだ可能だと思いますので、いま一度考えていただきたい。もうこれしかありません。

そうじゃなかったら、私自身は反対をさせていただきます。勝てばいいというもんじゃないですよ。それだけ申し述べておきます。

以上です。

議長（吉住美智子） ほかに質疑等ございませんか。田中覚議員。

議員（田中覚） ただいま議案第4号が提出され、管理者からの提案説明がございました。中身をお伺いしますと、部品の交換であるとか、オーバーホールがメインのようにご説明いただきました。

かかるその事項を受けて、その設計段階で安全対策のための大規模改修の当然設計書

には盛り込まれているんだろうと推測をさせていただきますが、その箇所数、改良点、そのための設計予算をお示しをください。

議長（吉住美智子） 総務室長。

総務室長（手島左千夫） 失礼いたします。

今回の議案に係りますこの大規模改修の経費、工事費用につきましては、1つは先般の事故とは別に一定の通常の工事に要する安全対策経費だとかということの関係で設計をさせていただいています。今回の工事、いろいろご意見を議員の方々から頂戴をいたしております。これを私どもも重く受けとめながらですけれども、一定費用面についてはこれは三機の責に帰すところが多々安全教育も含めてですけれども、あると我々は考えています。

そういう中で、私も組合としても三機化工建設とともにこういった事故が二度と起こらないように、さらに一から安全対策について構築をしまいたいとこのように考えております。

以上です。

議長（吉住美智子） 田中覚議員。

議員（田中覚） おかしなご答弁をいただきました。

大規模改修で、確かにものを燃やしたり、ものを運んだり、ごみを処理する例えば歯車が減っていました。その歯車を交換しましょう、シャフトが減ってました、もう折れたらあかんで交換しましょう、正しいですね。ベアリングをオーバーホールしてグリスアップしましょう、正しいと思いますが、それってそれだけであのプラントの全てを改修するに足り得るものではない。

先ほどから延々と議論ありますけれども、プラントそのものはまず一番に安全なんでしょう。安全に作業できる道具かどうか。2番目に、効率よく稼働する機械かどうか、それをその経年劣化たった今、大規模改修の中で安全面の見直しをしましょう、そして機械の効率化を図っていきましょう、そしてこれ何年先まで使うのか、ちょっと私不勉強で申し訳ないんですけれども、そこまで事故なく、事故というのは停止するような歯車が欠けたとか、ベルトコンベヤがちぎれたとか、そういうことなく稼働していけるようにハードの整備も、じゃあソフトの整備はこの予算には載ってないでしょうけれども、安全面の対策がないとするならば非常に不出来な設計としか言わざるを得ませんけれども、そのあたりのご所見はいかがでしょうか。

議長（吉住美智子） 総務室長。

総務室長（手島左千夫） 失礼をいたします。

先ほどご質問なり、ご意見いただいた内容、まさにおっしゃるとおりだと思います。

私も、今回この大規模工事をご審議をお願いするに当たっても、そういったことで施設の安全面等、また効率、機能強化という面も含めて、今回こういった大きな工事費になりますけれども、ご審議をお願いしながらお認めをいただきましたら工事にかかっていきたいと考えております。

その中でですけれども、それぞれの施設の工事費用の積算ということの中では当然部品の経費なり、また工事に要する作業員の人件費なりということで積算は上げさせていただいてます。

その中で、通常安全対策だとか、一般的な工事に要する安全対策だとか、そういった部分については諸経費というような形で計上させていただいてますので、そういう中で企業としても担保しておるといふふうに考えております。

以上です。

議長（吉住美智子） 田中覚議員。

議員（田中覚） これ最後なんですよ。

工事に関係する安全管理、安全対策は当然の話、今プラントの中でその処理工場の中で起きているさまざまな事故、これをどのようにこの改修の中でやっつけようかということ私を私は議論をさせていただきたいと思っております。

先ほどの全員協議会で申し上げました、例えばそのよく詰まる歯車があるんならば、そこへ行く手前に柵をつけて、その柵を開けた瞬間に電気が止まる、そしてぐるぐる回っているものは止まれば、手を差し伸べたときには必ず止まっているその柵を付けるとか、そういうことはこの改修の中で入ってますかということ聞いていて、そこでどんなところに今までの危険な部分があって、今回のこの大規模改修でさらにその危険予知をして、それをハード的にどのように改正するか、その箇所数と改良点、それに関する予算はこの2億円弱の中でどのぐらい盛り込まれてますかということをお尋ねしているんです。もう一度ご答弁をお願いいたします。

議長（吉住美智子） 総務室長。

総務室長（手島左千夫） 申し訳ありません。

たびたびのお答えになりますけれども、今回のこの改修工事につきましては実は昨年

来から当然日常業務、維持管理を行っていただいております三機化工建設とともに協議をしながら、将来にわたってあのクリーンセンターの焼却施設なり、リサイクル施設をさらに効率よく、現状以上に運営するために最低限必要な本年度この27年度に工事をするために必要な工事費として見込ませていただいております、ご質問にありますようにこの5月8日の事故、またそれまでの事故の対策としてそういった安全対策の費用を大規模改修に見込んでいるわけではございません。

ただ、本日の全員協議会でもご意見、多くの方々から頂戴をしました。その中にも田中議員おっしゃるように、そういったハード面の安全対策もこれまでよりも必要ではないかというご意見も頂戴しました。私ども、何も当初から今のクリーンセンターが安全対策として不十分だとは思っておりませんが、このように事故がたびたび起こっておるといふことも十分認識をした上で、そういったハード面、当然ソフト面もそうですし、ハード、機械のハード面も含めてこれからどのように改善をしていけば二度とこのような事故が起こらないかというような観点を持って三機化工建設と協議をしながら改善策を考えてまいりたい、また手がけられるものから早速私どもも一緒になって手がけていきたい、このように考えております。

以上です。

議長（吉住美智子） ほかに質疑はございませんか。前田議員。

議員（前田孝也） きょうのこの4号議案について、議事の進行の進め方、それから内容について随契の内容なんですけれども、そこらあたりについてを私はいまだに問題があるなどこのように思うところでもございます。

そうしたものは別として、予算について少し質問をさせていただきたいというように思います。

まず、契約金額の1億9,872万、2億円何がしのこの予算なんですけれども、三機化工建設からは幾ら上がっていたのか、この工事の内容と工事価格というのはどのようにチェックをされて、どれぐらいの期間をもって協議をされてきたのか、その経過とあわせてご報告、説明をいただきたいというように思います。

議長（吉住美智子） 事務局長。

事務局長（濱田謙治） この契約金額につきましてでございますけれども、まず最初に三機化工建設から見積もりを徴収いたしました。それが税抜2億3,465万円の見積もりを徴収をいたしております。それをもとに組合の方で再積算を行っております。

その主なものとしましては、材料単価や労務の人数等につきましては見積書を採用いたしまして、その他のものにつきましては三重県が発行しております積算基準と労務単価で積算をし直しております。

その積算の結果、設計金額につきましては1億9,444万2,000円、税抜きでございますけれども、そういう結果になりまして、その後再度三機化工建設の方と見積もり合わせをした結果、この5月20日に仮契約をいたしました契約金額という数字になってございます。

以上でございます。

議長（吉住美智子） 前田孝也議員。

議員（前田孝也） 三機化工建設から当初上がってきた見積金額は2億3,000万円何がし、それから2月の南部環境衛生当初予算が2億1,000万円ですよ。そして、今回仮契約とされているのが1億9,872万円と、もちろんこれは安くなっています。安くはなっているんですけども、じゃあ2億3,000万円の根拠というのは何だったんでしょうか。

それから、2億1,000万円と南部環境衛生組合の根拠というのは昨日ファクスでいただいております。この内容かて、曖昧なんですよね。

さらに、仮契約にされている1億9,872万円かて、これかて1,120万円ほど安くはなっているんですけど、当初から比べますと2,000万円、3,000万円ほど安くはなっているんですけども、この数字はひとり歩きをしていませんか。誰がどのようにチェックをされたんでしょうか。名張市の監査室がやったんでしょうか、1カ月ほどかけて。2億1,000万円の工事の見積もりをチェックできる、そんな優秀な職員というのは本当におるんでしょうか。

私の手元に2億1,000万円、当初予算の見積もりの概要書があります。この概要書を1つ見たときに、例えば受け入れの金額として5,679万円とか、いろんなことを書いております。その他機械の設備費として768万円とか計上しております。この768万円の計上の消耗品って一体幾らなんんでしょうか。

2億円というのは、何ぼでこの768万円を設定したんでしょうか。本当にこの2億1,000万円のチェックをできるという期間を1カ月できる職員というのは、伊賀市の監査室におるんでしょうか。もちろんいないと思うから質問してるわけなんですけども、管理者、こういう状況、曖昧な数字というのが随分並んでいるわけなんですけれども、

どうように捉まえているのか、ちょっと考え方をお示しいただきたいというように思います。

議長（吉住美智子） 管理者。

管理者（亀井利克） これ特殊な施設ですから、一応この事業者から上げさせて、そしてその見積もりが妥当かどうかということについてそれぞれ積算の根拠について勉強させているところです。

ですけれども、根本的には要するにこういう職員を育てていかなければならないわけです。ですので、その部分についてはやはりこれのプロパーでそういう職員を育てていかなければならないということで、これは近大高専の中でそのようなゼミもお願いできないかというふうなことでやっておりますけれども、2回の軸受けの事故がございました。このときに、金属疲労の教授がいらっしやいましたんで、その方に見ていただいて、これはこの太さ、距離ではこれでは持たないということがきっちり指摘をいただいたわけです。科学的に指摘をいただいたわけでございますけれども、今のその2つの事故というのは全く基本中の基本の機械を止めなくして作業に入ったとこういうことでございますので、この辺も含めてきっちりした今後の対応について議員の皆様にもご理解いただけるようなそんな対応をさせていただきたいとこのように思っているところでございます。

議長（吉住美智子） 総務室長。

総務室長（手島左千夫） 前田議員のご質問の中で、今回の工事費の審査についてご質問がございました。この工事の設計については、当然三機化工建設から見積もりをいただいて、その中身について私どもまずは組合の方で詳細に確認をさせていただいております。その中で、まずは当初予算に計上させていただきました2億1,000万円という数字を上げさせていただいて、その後この工事の請負契約を結ぶまでにさらに詳細設計をさせていただきながら、私どもこの契約については名張市の契約部門等に事務手続等お願いをしておりますので、その設計の内容について設計、名張市の契約担当の設計審査の担当職員にその内容の審査をお願いをしております。

期間ですけれども、それぞれ工事の内容、規模によって違いはございますけれども、およそ2週間から1月、通常であれば審査の期間を要します。今回のこの2億1,000万円の工事の設計審査につきましては、およそ2週間確認をいただいたというふうに伺っております。

以上です。

議長（吉住美智子） 前田孝也議員。

議員（前田孝也） 管理者の方から職員を育てる意義も聞かせていただきました。大事な
ことだと思います。

ただ、これは大事なことなんですけれども、今回の4号議案に関しての予算の設定と
いうものと職員の育て方というのは少し違うんじゃないかなとこういうように考えてお
ります。

また、事務局の方から2週間ほどかけてこのチェックをしたと、私はこのチェックは
2週間でできるものですかということをお尋ねしてるんです。というのは、ここにたま
たまなんですけれども、私は百合が丘の現場、380万円の工事を請け負いまして、今日
引き渡しをしてきました。380万円の見積もり、積算をするのに約2週間かかるん
です。しかも、これまでの詳細が必要とするんです。

2億1,000万円の工事の見積もりの内容をお示しくださいと言ったらこの1枚が送ら
れてきたと、工事の内容がどういうふうに捉まえておるのかと、要はできるのかでけ
へんのかといたら、できないというように思っているから聞いているわけなんです。

ただ、この今回の工事につきましては、ごみは一日と待つてはくれません。すぐ入っ
てきます。仮契約も済んでいます。こういう状況を考えたときには、総合的に考えた
ときには、議事の進め方にも問題があったし、この予算書の作成についても問題はある
んですけれども、全体的に早く処理をしなければいけない、早く着工しなければいけ
ないというこういう全体的な捉まえ方をしたときには私は賛成しておきたい。

ただ、予算の策定とか、そういった問題あるものについてはきちんと精査をしてくだ
さい。でないと、市民の税金が無駄に使われることになるんです。このあたりを質問
中に盛り込み、賛成の方向で質問をさせていただいているということなんです。

以上です。

議長（吉住美智子） ほかに質疑はございませんか。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（吉住美智子） ないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。三原淳子議員。

議員（三原淳子） 議案第4号について、反対の立場で討論いたします。

私たちは、もう二度と労働災害を起こしてはならない、この思いなんです。本会議前

の全員協議会、委託先の代表取締役からヒューマンエラーという言葉が出ました。これは、見過ごすことはできません。労働者の安全作業、安全を守るということは会社、そして管理者の責任であります。これまでの労働災害を繰り返している状況、腕をなくした労働者、親指をなくし、また顔をやけどした労働者、今回また腕の骨折です。なくしたものは戻らないんです。

労働者の安全を保てない会社に改修の委託を認めることはできません。稼働7年目の大規模改修です。大がかりな工事です。これまでの改修の経過を見たら下請、孫請の労働者が働いている、十分な安全な手順、万全な対策がなければ事故の危険性はぬぐえません。

継続審査を求めましたが、受け入れられませんでした。また、労働監督署の審査も済んでいません。指名停止になる懸念もある中で、全員協議会、本会議での委託先と管理者の答弁では不十分であります。

よって、この議案に反対をいたします。議員の皆さんの賛同をお願いいたします。

議長（吉住美智子） 浦崎陽介議員。

議員（浦崎陽介） 第4号議案を反対の立場から討論いたします。

私自身は、今回先ほども質疑で申し上げましたが、この今回の予算自身がだめだと言っているわけではございません。やはり我々議会が役割というのは、まずはこの命、人の命という重さをしっかりと受け止めなければなりません。現在は、命にかかわる重大な事故はまだ発生しておりませんが、やはりそれは未然に防げるところはしっかりと我々は未然に防ぐ、その努力を怠ってはいけません。

行政組織のあり方、今回の上程のあり方、そういうこともかんがみて私は反対をしたいと思っております。

三機化工工業さん、自身はそれはこれまで安全対策管理をしっかりとやってきたんでしょう。しかし、結果的にはその管理体制はなかなか実を結ばなかった、そして市もしっかりとこれまで管理体制は行ってきたんであろうが、これまでの管理体制ではなかなかできなかった。それを先ほども反対討論でございましたが、ヒューマンエラーという言葉一つで済まそうといたしました。

私はそうではなく、組織の管理のあり方、またハードのあり方、第三者機関、そういうところからの助言、そういうことをしっかりとしていただけるようお願いをいたします。それが終わるまでは、今回この予算は認めることができません。しっかりと安全

管理、やっていただいてからもう一度この予算を賛成したいと思います、不可能でありますけれども、今回はよってこの予算は反対をいたします。どうぞ議員の皆さん、しっかりとご判断、よろしくお願い申し上げます。

議長（吉住美智子） 前田孝也議員。

議員（前田孝也） この4号議案について、賛成の立場で討論をしておきたいと思えます。

確かに予算の問題、議事の進行、それぞれにおいては私は納得のいかない部分もございますが、しかし毎日山のように繰り出されてくる、搬入されてくるごみの問題、これを止めるわけにはいかないんです。

それから、もう既に仮締結も済んでおります。こういった状況を考えたときに、この今日の予算をとめるというのは問題があるんじゃないかなとこういうように思い、この4号議案に対しては賛成の立場で議論させていただきます。

約7年ほど前にこの工事は着工されました。落札業者について入札をする段階におきましても、指名停止って談合の問題があったわけなんですけども、そのときから確かにいわくがついております。しかし、ごみの処理をしなければいけないという大義に立ったときに、じゃあ今私たちがどうのように判断をすべきかと、こういうふうなことを持ち合わせたときに、この4号議案はこれは賛成をさせていただきたい、こういうように思います。

議長（吉住美智子） 田中覚議員。

議員（田中覚） 議案第4号に対して反対の立場を表明し、討論に参加をさせていただきます。

私たち、この議場でクーラーもきいて、じゅうたんの上で仕事をしておりますけれども、片やクリーンセンターでは暑い中、随分と頑張っていることを想像して皆様方に問いかけさせていただきたい、このように思います。

先ほどの全員協議会で、副管理者の伊賀市岡本市長の方から不安全な行為また労働災害、さまざまな事故に対して業者だけが悪いんじゃないでしょう、名張市も伊賀市も、そしてこの組合も同時に私たちのこの組合議会も責任は全部業者や、業者やと言うていませんでしたか。私たちはこの議会を議会の責任として真に働く、額に汗を流す労働者を守るものが1つ、2つ目には市民の環境を守っていくとかということが2つ、そんなことの大義に立ってこの議案を議論させていただきたいと思うんです。

先ほどの質疑で明らかになりました。今回のこの大規模改修は、最低限必要な改修をします、安全を見込んでいません、このことが明らかになったんです。どこの工事現場行っても、どこの工場へ行っても、まず青い十字に安全第一、このことが掲げられています。今、この組合は安全を無視してコストを優先に改修をしようとしている。私たち議会は、議員は市民の安全を業者の安全を無視をするような、その議案に賛成していいだろうか、こんなご決断をいただきたいと思います。

同時に、先ほどから反対討論の中でご議論ありました業者として十分な説明も受けてませんよ、私たち議会は。そんな十分な説明を受けていない私たちがこの工事は大丈夫ですと、今後も大丈夫です、未来永劫に大丈夫です、こんな判断もできない、こんなことを皆様方に問いかけさせていただきまして、どうぞこの議案には反対をお願いをいたします。

議長（吉住美智子） これより議案第4号について採決いたします。本案は原案のとおり決することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（吉住美智子） 起立多数であります。議案第4号については、原案のとおり可決されました。

~~~~~

日程第7 議案第5号 監査委員の選任につき同意を求めることについて

議長（吉住美智子） 日程第7、議案第5号を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。管理者。

（管理者亀井利克登壇）

管理者（亀井利克） ただいま上程されました議案第5号、監査委員の選任につき同意を求めることにつきまして、提案理由のご説明を申し上げます。

このたび識見を有する者のうちから選任され、監査委員をお務めをいただいております黒岩良信氏が本年3月31日の任期満了に伴い退任されましたので、後任として旭善宏氏に監査委員をお願いいたしたく、組合規約第12条第2項の規定により議会の同意を求めるものでございます。

ご承知のとおり、現在旭氏は、名張市監査委員をお務めいただいております。地方行政に豊富な経験と深い見識を有し、まさに監査委員として適任者であると考えます。何とぞよろしくご同意を賜りますようお願いを申し上げます。提案理由のご説

明といたします。

議長（吉住美智子） これより質疑を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（吉住美智子） 質疑がないようでありますから、これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「議事進行」と呼ぶ者あり）

議長（吉住美智子） 討論がないようでありますので、討論を終結いたします。

これより議案第5号について採決いたします。本案は原案のとおり同意することに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

議長（吉住美智子） 起立全員であります。よって議案第5号は、原案のとおり同意することに決しました。

以上で本組合議会臨時会に付議されました事件は全て終了いたしました。

これをもちまして平成27年5月伊賀南部環境衛生組合議会第184回臨時会を閉会いたします。

午後1時43分閉会

~~~~~

議長は、この会議録をつくり、署名者とともに署名する。

議 長

議 員

議 員